

2024-25

第 38 回例会

2025.6.25

国際ロータリー第 2530 地区 県北第一分区

福島南ロータリークラブ会報

福島南
Rotary
クラブ



会員 75 名中 60 名出席 80.00% 修正 60 名 80.00% メイクアップ 0 名

例会会場/ウエディング・エルティ TEL 024-535-6188 水曜日 12 : 30

◆会長あいさつ 赤間浩一会長

皆様改めましてこんにちは。まずはお越し下さいましたお客様をご紹介致します。

当クラブ名誉会員 穴戸 英男 様です。

ようこそお越し下さいまして、誠にありがとうございます御座います。

さて、前回の例会時に、次年度 R I 会長を予定していたマリオ・デ・カマルゴ氏より、2025-26 年度 R I 会長としての職を辞するという通知を受理したと言うお話をしました。

次年度まで 20 日と言うタイミングで大波乱が起きたのですが、その 5 日後に続報で次年度会長が決まった旨の連絡がありました。

次年度 R I 会長はイタリアのラグーザ・ロータリークラブに所属している、

フランチェスコ・アレツツォ氏が指名を受託したとの事です。

また、既に周知されていた次年度会長メッセージにつきましては「よいことのために手を取りあおう」が引き続き使用される事で決まったと言う事です。

本日は年度最終例会となっており、後ほど退任挨拶もありますし、お伝えしなければならないこともお伝えしましたので、以上で挨拶とさせていただきます。 ありがとうございます御座いました。

◆次年度地区役員委嘱状授与

◆ポリオプラスソサエティ認証状授与



◆全委員会活動報告



会場監督

一條浩幸 会場監督



未来計画委員会

菅野良二 副委員長



クラブ管理運営

廣澤俊樹 委員長



親睦活動委員会

河谷元小委員長



R 情報教育委員会

高橋勇雄 小委員長



委員会活動

一年間お疲れさまでした

◆会長退任挨拶

いよいよ皆様にごこうしてお話するのも今回が最後となりました。
それでは退任の挨拶をさせていただきます。

私は福島南ロータリークラブ史上一番頼りない会長だったと思っています。

私には何もありません。学歴も無いし、特段目立った特技もありません。会社の創業者でも無いですし、自分に自信が持てずおまけにあがり症で人前に立つのがとても苦手な人間です。

このように何も無い私が皆さんからの支援を頂きながら会長を1年間務める事で、会長ってそんなに大変じゃないと言うところをまだ会長を経験されていない方たちに行動で見せたいと思って過ごしてまいりました。私は所信表明で楽しみながら次の時代に繋いで行くと申しましたが、この言葉はそういう意味から発言させて頂きました。

廣澤副会長からも仕事があるなら休めとも言っておりましたので、何なら数回例会をお休みしようかとも考えておりましたが、用事が無く休みませんでした、が理事会は仕事の都合で1度だけ欠席させて頂きました。

後日、廣澤さんに理事会大丈夫でしたか？と聞いたら、いつもよりスムーズに終わったよ。と休んでも大丈夫だよという事を証明して頂く、とてもありがたい言葉を頂きました。

皆さんがどのように捉えたかは分かりませんが、皆さんが想像する会長と言うものの考えが少しでも変わってくれたのなら本望です。

さて、私が幹事を仰せつかった際の会長は第51代会長の一条浩孝さんでした。

一条さんはクラブ51年目を迎えるにあたって、例会の形を変えました。

一条さんの退任後元に戻ってしまいましたが、私は一条さんが新しい半世紀を迎えるにあたって実行した会長も幹事も皆さんと同じ円テーブルに座り、点鐘をそのテーブルで実施する。を真似させて頂きました。

その一条さんは、過去に海外のロータリークラブにメーキャップした際に、その光景を見てスム



ーズで良いと思ったから実施したと仰っておりましたが、一條さんが実施している姿を見て私もやはりスムーズで良いなぁと感じておりましたので、今年度実施をさせて頂きました。

さらに、食事の始め方にもスムーズでは無いと感じておりましたので、今年度は会場監督の皆さんにお願いして進行の中でお食事の案内もお願いしました。

会場監督の皆さんにはあれやこれやとお願いばかりでしたし、何より笠幹事には早くから例会プログラムを作成頂いていたにもかかわらず、私の対応が遅くなってしまっていつもギリギリのタイミングで進行原稿を一條さんに送付しておりましたが、会場監督の皆さんには見事なチームワークで司会と運営をこなして頂きました。

植松さんの素晴らしい話しぶりや、オカンポさんのチャレンジ精神に私も勇気づけられることもありまして、パスト会長の会場監督の皆さんは、いつもニコニコと私を励ましてくれておりました。

このチームワークは一條浩孝会場監督の常に冷静沈着な判断をもって委員の皆さんとのコミュニケーションが上手に取れていたのだと言う風に感じております。このチームワークにより物凄い安心感を頂きました。1年間本当にありがとうございました。

感謝の意味を込めまして、後程会長賞をお送りさせて頂きたいと思います。

数年前に高橋勇雄さんから伝統と伝承の違いと言うお話を聞いた事があります。

伝承は受け継いできたものをそのまま後世に伝えていく事で、伝統は古くても良いものは残し、受け継いでいながら、さらに新しい手法も取り入れて挑戦していく姿勢である事で、伝統の方が革新的な意味を持つといった内容のお話でした。

私は今年度行ってきたことは、基本は真似事ですが伝統的な革新に繋がれたと感じております。

ですので、これからもスムーズな例会進行、会員の時間をどのように使うのか、どのような形でクラブの未来の為に何か引き継いで頂ければありがたいなと思います。

また、今年度は様々な行事に参加させて頂き、多くの経験をさせて頂きました。

特に福島成蹊高校がホストであった年次大会は、会長に就任して間もない8月2日に開催されました。7月にはガバナー公式訪問も予定されていた中で、私自身IACの年次大会を経験したことが無く何が何だか分からない中でも、年度が始まる前の5月の中旬から齋藤高裕委員長を始めとする青少年奉仕委員会と青少年奉仕委員会アドバイザーの伊藤弘子会員には鈴木智美先生のフォローやIACとロータリーの連携を大変綿密に実施頂きまして、見事大成功で締めることが出来ました。

齋藤委員長もこの話が出たころには良く分からないと話しておりましたが、頂くメールを見て行くと全て分かって動いているのではないかと思わせる位に簡潔でありながら的確に物事が進んでいくのが分かりましたので、私自身は違う物事へ集中することが出来ました。本当にありがとうございました。青少年奉仕委員会の物事を進める力に感謝いたしまして、後ほど会長賞をお送りさせて頂きます。

そして、今年度の例会の中心としてきましたのは会員スピーチです。

早川ガバナーが掲げたスローガンを織り交ぜて『全員参加でロータリーを楽しもう』と言うクラブテーマのもと年度がスタートしましたので、全員が参加と言う意味で多くの皆さんにスピーチして頂く事と致しました。

スピーカーの手配は齋藤弘之委員長を始めとする職業奉仕委員会に担当頂きました。様々な変更がありながらも、新会員は8名の皆さんに、会員スピーチは12名の皆さんに、そして、米山奨学生にもスピーチして頂き、合計で21名の皆さんにお話し頂くことが出来ました。

皆さんのスピーチはどれも素晴らしく、新会員のスピーチではどのような会社でどのような事を

生業としているのかなど、とても分かりやすいスピーチだったと思います。また、皆さんがどのような経緯で今に至っているのか やどのような逆境を乗り越えてきたのかなど、いつもスピーチの時間を楽しみにさせて頂きました。

職業奉仕委員会の皆様とスピーチ頂きました皆様には大変ありがとうございます御座いました。

例会においてもそうですが、各イベント等の準備や進行そして参加等につきましては、実に多くの皆さんにご協力を頂いたからこそ1年間何とか努め上げることが出来たと痛感しておりますので、ここからは各委員会の皆さんに感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

菅野 良二 副委員長を始めとする未来計画委員会の皆さん。無知な私は、社会奉仕活動を例会と一緒にすれば出席者が増えて社会奉仕活動に活気が出るのではないかと考え相談してまいりましたが、やはりそこは切り分けるべきとご判断を頂きました。賢明なご判断を頂いたと納得しておりますし、この判断も伝統を重視した結果であると思います。色々な相談に乗って頂きまして誠にありがとうございました。

河谷 元 委員長を始めとする親睦活動委員会の皆さん。毎月の誕生祝をご担当いただきました。また、年度当初の家族納涼会から始まり、年間7回の親睦活動の準備と運営を頂きました。どのような催し物を行うかなど、大変ご苦勞を掛けたと思いますが、親睦活動委員会の力で全てやり切って頂きました。ありがとうございます御座いました。

高橋 勇雄 委員長を始めとするロータリー情報教育委員会の皆様。毎月のロータリーの友の時間では、毎回ためになるお話をして頂きましたし、新会員オリエンテーションに於いても、委員の皆様が講師となり、このクラブの歴史などをお話頂き、私自身も大変勉強になりました。また、新会員の仲間を孤独にさせないと言う趣旨で新会員とカウンセラーの集いを作り、そこで懇親を図ったうえでの新会員オリエンテーションは大変盛り上がったと思います。新会員への心遣いにも感謝を申し上げます。

大野 順道 委員長を始めとするスマイリングボックス委員会の皆さん。例会ではいつも早い時間から寄付集めをしていただきありがとうございました。奉仕活動の財源確保にご尽力いただき感謝申し上げます。ありがとうございました。

河野 忠 委員長を始めとする会員増強委員会の皆様。今年度は退会者も多く純増とは行きませんでした。入替えの入会者が中々決まらない中でも、新会員4名の皆さんに入会頂きました。一緒に活動出来て1年間楽しかったです。ありがとうございます御座いました。

渡邊 勝 委員長を始めとするクラブ会報委員会の皆様。毎回の例会で写真撮影と会報の作成を担当して頂きました。私の原稿送付がいつも遅くなり、ご迷惑をお掛けして申し訳ございませんでした。毎回必ず最終ページの最後まで紙面を埋めて頂くような配慮を頂いておりました。1年間ありがとうございます御座いました。渡邊委員長は次年度も続投されるようですので、引き続き頑張ってくださいと思います。

穴戸 隆司 委員長を始めとするクラブ広報委員会の皆様。クラブ事業実施の際にメディアへの掲載依頼を主に担当頂きました。何も言わなくても自主的にメディアに取材依頼を実施し、急にメディアの方が見えて恥ずかしながらビックリすることもありました。1年間支えて頂きました。ありがとうございます御座いました。穴戸委員長も続投との事ですので、引き続きよろしくお願いいたします。

半澤 一成 委員長を始めとするIT委員会の皆さん。今年度は3委員会合同でマイロータリーやホームページの勉強会を例会の中で初めて実施しました。時代の流れの中で、非常に意味のある挑戦だったと思います。このプログラムは来年も引き継がれるようですので、この切掛け作りを担って頂きありがとうございます御座いました。

渡辺 雅浩 委員長を始めとする社会奉仕委員会の皆さん。福島リトルリーグが大声杯を大切な大会として待っていてくれたことが分かり、今後のクラブ活動に大きな意味を持つ事だと思いま

す。また、社会奉仕活動が多くある中で自主的にかつ綿密に各関係者と準備を進めて頂き本当に助かりました。1年間お支え頂きありがとうございます御座いました。

安斎 常克 委員長を始めとする国際奉仕委員会の皆さん。前年度に引き続きフィリピン渡航の段取りを担って頂きました。出発からアクシデントもありましたが、それも含めて私の人生においても忘れることが出来ない経験をさせて頂きました。国際奉仕委員会あつての経験だったと思います。本当にありがとうございます御座いました。

鈴木 光一 委員長を始めとするロータリー財団委員会の皆さん。一年を通しての寄付集めをご担当いただき、ありがとうございました。また、グローバル補助金の対応や、母子生活支援施設への対応など、1年間大きな活動を支えて頂きありがとうございます御座いました。鈴木委員長も続投との事ですので、引き続きよろしくお願いいたします。

鈴木 洋子 委員長を始めとする米山記念奨学会委員会の皆さん。寄付集めや米山奨学生のフォロー、一年間お疲れ様でした。奨学生のゴ・カラクさんも福島南で良かったと心から感じていたと思います。ありがとうございました。

最後に、笠幹事に感謝を申し上げたいと思います。笠さんは、これから工業会の理事長と言う大変多忙になる事を分かっていた上で幹事を引き受けてくれました。

2足の草鞋を履くのは非常に負担になるだろうと思い、お仕事がある時には胸を張って休んで下さいと言っておりました。そこまでは良かったのですが、休んで下さいと言っておきながら、多忙な中で作成頂いた例会プログラムの校正がいつも遅くなってしまい、1年間足を引っ張り続けてしまっていたと思います。それでもさじを投げずに作り続けてくれました。感謝もそうなんですが謝罪の心の方が大きいかもしれません。でも私は笠さんと1年間走ることが出来て本当に楽しかったです。ありがとうございます御座いました。

とにかく多くの会員の皆さんにこの頼りない私を支えて頂いたからこそ1年間無事に走り切ることが出来たと心から感じております。本当にありがとうございます御座いました。

そして来週からは菊地和宏会長、伊藤弘子幹事の年度がスタートします。と言いますか、送付されてくるメールでは既に次年度の事柄が既に始まっている状態です。

そして、菊地さんが送付するメールの内容は熱意が最前面に出ている内容ばかりですので、何も心配はありませんが、そのような中でも何かあればクラブワンチームでお二人を支えて、素晴らしい年度にしていきたいと思いますので、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

以上で、退任の挨拶とさせて頂きます。1年間、本当にありがとうございます御座いました。



◆幹事退任挨拶

◆会長賞授与



会場監督

一條浩孝会場監督

青少年奉仕委員会

齋藤高裕小委員長

◆バッチ交換・花束贈呈



赤間浩一会長・笠雅樹幹事一年間お疲れさまでした

◆退会挨拶 三浦善治会員



◆RLI 研究会受講終了証授与



◆福島南ロータリークラブ 2024-25 の思い出

